

第 24 回大学対抗背比べ

出場選手

- 1 中村晴翔（なかむらはると） 明治大学 2 年。172cm
- 2 高木照英（たかぎしょうえい） 中央大学 4 年。168cm
- 3 木之本連（きのもとれん） 法政大学 3 年。178cm
- 4 岡部航世（おかべこうせい） 成蹊大学 1 年。170cm
- 5 新開 旭（しんかい あさひ） 法政大学 3 年。173cm
- 6 寺島渉（てらしま わたる） 大東文化大学 2 年。177cm
- 7 松岡千隼（まつおかちはや） 神奈川大学 3 年。167cm。
- 8 江副太陽（えぞえたいよう） 上智大学 4 年。176cm。
- 9 室井駿（むろいしゅん） 専修大学 2 年。180cm。
- 10 石田漣（いしだれん） 国学院大学 2 年。175cm。
- 11 桑原凜久（くわばらりく） 東洋大学 3 年。182cm。
- 12 今給黎駿（いまきゅうれいしゅん） 駒澤大学 3 年。166cm。
- 13 安藤凪生（あんどうなぎお） 早稲田大学 1 年。189cm

14 槙野透真（まきのとうま） 慶應義塾大学3年。190cm

15 千田空良（せんだそら） 日本体育大学2年。175cm。

16 平良悠希（たいらゆうき） 帝京大学4年。179cm。

BLACK SCREEN

SUPER: せいくらべ【背比べ】

背の高い低いを比べること。また、背の高さを競い合う遊び。

INT. 市民ホール - 会議室-昼

垂れ幕が掲げられている。

「第 24 回 大学対抗背比べ 抽選会」

室内には選手と関係者あわせて 30 名ほど。

一同の前にマイクを手にした進行役の男が立っている。

長机の上にはくじ箱が置かれており、背後のホワイトボードには空欄のトーナメント表。

ざわつきは小さく、空気はどこか張り詰めている。

進行役

ではこれより第 24 回大学対抗背比べの抽選会を開始いたします。

トーナメント表は全 16 枠。

中央の「決勝戦」を境に、左右に 8 人ずつのブロック。

1 から 16 までの番号が割り当てられている。

進行役（つづけて）

今から名前をお呼びしますので、呼ばれた選手はこちらへお越しください。順番にくじを引いていただき、その番号に従って対戦カードが決定します。

進行役、手もとの資料に目をやる。

進行役（読み上げる）

法政大学三年、新開旭（しんかいあさひ・20）選手。

新開

はい！

新開、大きな返事をし、立ち上がる。

新開、ゆっくり前方へいく。

無言でくじ箱に手を入れる。

札を取り出し、「5」の札を掲げる。

スタッフがトーナメント表の5番に「新開」と書かれたマグネットを貼る。

新開、席へ戻る。

進行役

中央大学四年、高木照英（たかぎしょうえい・21）選手。

高木

はい。

高木、立ち上がり、前方へ。

くじを引き、「2」の札を掲げる。

高木、席へ戻る。

スタッフが2番に高木の名前を貼る。

進行役

早稲田大学一年、安藤凪生（あんどうなぎお・18）選手。

安藤、悠然と立ち上がる。

屈強な肉体に加え、目を引く高身長。

静かに壇上へ上がり、「13」の札を引く。

安東、席に戻る。

トーナメント表の13番に「安東」。

進行役

大東文化大学二年、寺島渉（てらしまわたる・19）選手。

寺島

はい！

寺島が前へすすむ。

寺島、くじをひき、「6」の札を掲げる。

先ほど「5」を引いた新開と対戦が決まる。

新開、かすかに表情が強張る。

以下、ダイジェストで、各選手のくじ引きの様子が映し出されていく。

– 緊張感漂う空気。

- 番号を掲げる選手たち。
- 埋まっていくトーナメント表。

ダイジェストが終わり、トーナメント表の八割が埋まる、

まだ大男安藤の対戦相手=14 が空いている。

進行役

慶應大学三年、槙野透真（まきのとうま・20）選手。

牧野

はい。

槙野、端正な顔立ち。

スリムながら安藤に負けず劣らずの長身。

壇上へ上がり、「14」の札を引く。

安藤と槙野の対戦が決定し、場内が微妙にざわめく。

安藤、表情を変えない。

完成したトーナメント表が映し出される。

進行役

以上で抽選会を終了します。 選手のみなさんはこちらへお集まりいただき、

番号順にお並びください。

16人の選手が横一列に並び立つ。

一目でわかる身長差。

一目でわかる勝ち負け。

とりわけ目立つのは、安藤と槙野。

隣り合う二人、他の選手より頭ひとつ飛び抜けている。

身長が互角で、この二人のみ、勝ち負けがわからない。

INT. 体育館の入口 - 朝 (数日後)

SUPER: 大会初日

「第 24 回大学対抗背比べ」と書かれた立て看板。

その横を、パフレットを手にした観客たちがゆっくりとくぐっていく。

INT. 体育館・室内 - 朝

バスケットコートほどの広さ。

磨かれた木の床が、照明に白く反射している。

観客席には各大学の応援団、保護者、友人たちの姿が見える。

会場全体に、静かな緊張が漂っている。

SUPER: 開会式

壇上には、マイクを持った運営スタッフ（50 代男性）。

スタッフ

選手、入場。

控えめな拍手が起こる。

場内アナウンスの声にあわせて、選手たちが一人ずつ入場する。

大学名と名前が読み上げられるたび、会場のスクリーンにアップで映し出される。

選手たちは無言で、決められた立ち位置へと歩いていく。

順に並んでいく 16 人の選手。

誰もが背筋を伸ばし、どこか硬い表情をしている。

足音だけがコートに響く。

列が完成し、ジャージ姿の 16 人が、まっすぐに前を向いて立つ。

身長の凹凸が、視覚的にくっきりと浮かび上がる。

スタッフ

選手宣誓に移ります。代表して、法政大学三年、新開旭選手、前へ。

新開、前に出てマイク前に立つ。

新開

宣誓。我々選手一同は、ルールを守り、正々堂々と勝負することを誓います。

静かな拍手が起こる。

スタッフ

次に競技ルールとその他注意事項をお伝えします。

台本を手に、やや硬い口調で続ける。

スタッフ

本大会は、1対1の対決形式で身長を測定し、背の高い方が勝者となるトーナメント方式です。測定は専用機材を用い、審判員が公式記録をもとに勝敗を判断します。姿勢は正立、かかとは壁に合わせ、帽子・髪型などによる“かさ増し”は禁止となっております。計測後、勝敗が確定したのち、次の試合へと進行します。

少し間を置いて、

スタッフ

また、会場内は高温となっておりますので、選手の皆さんは各自こまめな水分補給を心がけてください。 体調不良を感じた場合は、無理をせず、近くのスタッフに申し出てください——

試合前。

選手たち、コートの隅で、スマホをいじったり、話をしたり、リラックスした様子。

体育館中央は試合エリア。

白線で囲まれた測定区画の中に、身長計が設置されている。

脇にはトーナメント表の大きなパネル。

———

SUPER: 第一試合

試合エリア。

中村 晴翔（なかむらはると・19）と高木、向かい合っている。

そばに数人のスタッフ。

まず、中村が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

172 センチ。

中村、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、高木、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

168 センチ。

高木、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

中村選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「172 - 168」と記入。

場内アナウンスが響く。

アナウンス (V.O.)

続いて、第2試合を行います。

SUPER: 第二試合

木之本連（きのもとれん・21）と岡部航世（おかべこうせい・18）、向かい合
っている。

木之本、身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

178 センチ。

木之本、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、岡部、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

170 センチ。

岡部、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

木之本選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「178 - 170」と記入。

以下、ダイジェストで第3試合～第6試合が映し出される。

第3試合。

新開と寺島が向き合う。

結果は「173 - 177」。

新開、敗れる。

第4試合。

松岡千隼（まつおかちはや・20）と江副太陽（えぞえたいよう・21）。

結果は「167 - 176」。

勝った江副、一礼する。

第5試合。

室井駿（むろいしゅん・19）と石田漣（いしだれん・19）。

トーナメント表に「180 - 175」と結果が書かれる。

第6試合。

桑原凜久（くわばらりく・20）と今給黎駿（いまきゅうれいしゅん・20）。

「182- 166」で桑原が勝つ。

桑原、軽く笑みをこぼす。

アナウンス (V.O.)

続いて、第7試合を行います。

SUPER: 第7試合

安東と楨野、ひときわ目を引くふたりの大男が向き合う。

二人とも、堂々たる立ち姿。

観客、息を呑んで試合を見つめている。

まず、安東が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

189センチ。

安東、身長計から降りる。

軽く一礼し、元の場所に戻る。

続いて、牧野、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

…190 センチ。

牧野、身長計から降りる。

深々と一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

牧野選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「189 – 190」と記入。

安東、無表情のまま去っていく。

館内の拍手は控えめだが、重い。

一回戦の全試合が終了する。

対戦結果が記されたトーナメント表が映し出される。

INT. 体育館・室内 - 朝

SUPER:大会二日目

コートでは二回戦の第一試合が行われている。

中村と木之本の対戦。

中村、身長計で身長を測っている。

客席には一回戦で敗れた新開の姿がある。

声

よう

後ろから声をかけられる。

新開、振り向くと、堂前獅音（どうまえしおん・24）が立っている。

新開

…先輩

EXT. 体育館・裏手 - 同時刻

蝉の声が轟く。

風が少しだけ吹いている。

新開と堂前、缶ジュースを手にして立っている。

二人、同じくらいの身長。

堂前

試合、見てたよ。お疲れ。

新開

…ありがとうございます。

新海、缶ジュースを飲み干し、ぽつりと漏らす。

新開

四連覇したんですよね。先輩は。

堂前

…俺の場合、運がよかつただけだ。

言い切って、堂前は校舎の壁にもたれかかる。

沈黙が続く。

INT. 体育館・室内 - 昼過ぎ

新開、戻って来る。

本日の試合、終わっている。

EXT. 体育館・外 - 午前

SUPER:大会三日目

激しい雨が降っている。

空が光り、雷鳴が轟く。

ナレーション (V.O.)

準決勝は大荒の天気の中での試合となった。

INT. 体育館・コート - 午前

雷雨のため、観客はまばら。

静かな声援の中、アナウンスが入り混じる。

アナウンス (V.O.)

準決勝第1試合を行います。

試合エリア。

木之本と寺島、向かい合っている。

まず、木之本が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

178センチ。

木之本、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、寺島、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

177 センチ。

寺島、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

木之本選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「178 - 177」と記入。

場内アナウンスが響く。

アナウンス (V.O.)

準決勝第2試合を行います。

試合エリア。

牧野と桑原、向かい合っている。

まず、牧野が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

190センチ。

牧野、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、桑原、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

182 センチ。

桑原、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

牧野選手の勝ち上がり。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「190 - 182」と記入。

アナウンス (V.O.)

準決勝の結果が出ました。決勝戦は明日 10 時より行います。

EXT. 体育館・外 - 午前

SUPER:大会最終日

晴れあがった青空。

眩しい陽射しが降り注いでいる。

INT. 体育館・室内 – 午前

昨日とは打って変わって、賑やかな観客席。

館内に拍手と声援が響き渡る。

コートの隅で、3位決定戦に向けて、寺島と桑原がストレッチしている。

寺島

…なんで銅メダルまでしかないんだろうな。

寺島、屈伸をしながら桑原をちらりと見る。

桑原、寺島を不思議そうに見返す。

寺島

いや、1位をプラチナメダルとかにして、4位までメダルもらえてよくないかなって。ベスト4なんだし。

桑原

…昔は価値がある金属が金銀銅の三つだけだったから、メダルの数もそうなつたって聞いたことがあるけど。あと加工しやすいのもあるらしい。

寺島、沈黙し、ジャンプを始める。

桑原

え。そういう話じゃなくて？

寺島

いや、この試合に負けたら合コンに持つていけないじゃん？ メダル。

桑原

あー。

二人、笑う。

寺島、腕を伸ばしながら、

寺島

なんつか、結局はルール次第だなって。まー当たり前なんだけど。

SUPER:三位決定戦

アナウンス (V.O.)

三位決定戦を行います。

試合エリア。

寺島と桑原、向かい合っている。

まず、寺島が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

177 センチ。

寺島、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、桑原、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

182 センチ。

桑原、身長計から降りる。

一礼し、小さくガッツポーズをする。

スタッフ

3位は桑原選手です。

スタッフの一人、トーナメント表の欄に「177 - 182」と記入。

場内アナウンスが響く。

アナウンス (V.O.)

決勝戦を行います。

試合エリア。

木之本と牧野、向かい合っている。

まず、木之本が身長計の台の上に立つ。

スタッフの一人が身長を測る。

スタッフ

178 センチ。

木之本、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

続いて、牧野、身長計の台に立つ。

身長が読み上げられる。

スタッフ

…190 センチ。

牧野、身長計から降りる。

一礼し、元の場所に戻る。

スタッフ

優勝は楨野透真選手です。

会場に大きな拍手が響く。

SUPER:閉会式ステージ

16人の選手たちが壇上に立っている。

観客席には関係者や家族の姿。

堂前の姿もある。

司会がマイクを握る。

司会

すべての選手に敬意を表し、これより表彰式を行います。

司会、一拍置き、

司会

1位。慶應義塾大学、楳野透真。記録、190 センチ。

牧野、一步前出る。

表彰者が牧野の首に金メダルをかける。

牧野、笑顔で金メダルを見つめる。

司会

2位。法政大学、木之本連。記録、178 センチ。

木之本、一步前出る。

表彰者が木之本の首に銀メダルをかける。

木之本、笑顔で銀メダルを見つめる。

司会

3位。東洋大学、桑原凜久。記録、182 センチ。

桑原、一步前出る。

表彰者が桑原の首に銅メダルをかける。

桑原、笑顔で銅メダルを見つめる。

司会

以上をもちまして閉会式を終了します。

拍手。

スタッフが壇上に上がり、記念写真のための立ち位置を指示している。

牧野たちメダリストは中央、その他の選手はその外側に立つ。

カメラの前、選手 16 人が横一列に並んでいる。

身長の凹凸が、視覚的にくっきりと浮かび上がる。

一目でわかる身長差。

一目でわかる勝ち負け。

END